

やがて来たる者へ (2009)

L'UOMO CHE VERRA
THE MAN WHO WILL COME

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 117分

初公開日 2011/10/22

公開情報 アルシネテラン

映倫 PG12

【解説】

第二次大戦下のイタリア北部の山村で、パルチザンの抵抗に手を焼くドイツ軍が、多くの子供や女性を含む多数の非戦闘民間人を処刑した“マルザボットの虐殺”と呼ばれる史実を、一人の幼い少女の視点から忠実に再現していく衝撃の戦争ドラマ。監督はこれが長編2作目のジョルジョ・ディリッティ。

1943年12月。イタリア北部の山あいにある小さな農村。静かなこの村にも、戦争の影は徐々に迫っていた。8歳のマルティーナは、大所帯の農家の一人娘。生まれたばかりの弟が亡くなって以来、口をきかなくなってしまった。しかし、母レナがふたたび妊娠し、マルティーナも生まれてくる赤ちゃんを心待ちにする。そんな中、戦況は次第に激しさを増し、地元の若者たちが加わるパルチザンの抵抗がドイツ軍を苦しめていく。業を煮やしたドイツ軍は、ついにパルチザン掃討作戦を開始するが…。

【クレジット】

監督	ジョルジョ・ディリッティ	Giorgio Diritti	
製作	ジョルジョ・ディリッティ シモーネ・バキーニ	Giorgio Diritti Simone Bachini	
原案	ジョルジョ・ディリッティ	Giorgio Diritti	
脚本	ジョルジョ・ディリッティ ジョヴァンニ・ガラヴォッティ タニア・ペドロニ	Giorgio Diritti Giovanni Galavotti Tania Pedroni	
撮影	ロベルト・チマッティ	Roberto Cimatti	
美術	ジャンカルロ・バージリ	Giancarlo Basili	
編集	ジョルジョ・ディリッティ パオロ・マルゾーニ	Giorgio Diritti Paolo Marzoni	
音楽	マルコ・ビスカリーニ ダニエレ・フルラーティ	Marco Biscarini Daniele Furlati	
出演	アルバ・ロルヴァケル マヤ・サンサ クラウディオ・カサディオ グレッタ・ズッカーリ・モンタナーリ ステファノ・ビコッキ エレオノーラ・マッツォーニ	Alba Rohrwacher Maya Sansa Claudio Casadio Greta Zuccheri Montanari Stefano Biccocchi Eleonora Mazzoni	ベニャミーナ レナ アルマンド マルティーナ ブガメッリ ブガメッリ夫人